

1.2 教育理念

全人教育

主知主義、科学偏重の形式化、枯渇した教育、このような在来の教育を打破して真の教育を行い、真理を探究し道義を尊び、温かい心情を養って強固な意志を鍛練し、豊かな教育を身につけた調和的な全人格陶冶を行い、品格を備え魂をもった健全な国際的日本人の育成を目指す教育を行う。

人間と自然を尊ぶ教育

豊かな自然環境の下で、悠久な大自然を畏敬する、たくましい野性味と不屈の精神をもつ人間性を培い、生成発展してやまない人類社会の一員として、人の生命を尊重する教育を行う。

心情と愛の教育

教育は、社会や人類の文化の進展に即応し、むしろその先導的役割を果たすものでなければならない。今日多くの大学はその名に値せず、社会もまた混濁していると言えよう。

少なくとも、真の教育が行われる大学は、教師と学生の間、学生相互の間に、あくまでも真理が尊ばれ、その探究と実践がなされる場であり、豊かな心情の美徳が尊ばれ、かつこれが渾然一体となる社会でありたい。

このような教育社会は、師弟間の信頼のもとでこそ可能であり、その根底は愛にあることに気づかずにはおられない。本学はその効果的実現に努める。

知行合一の教育

真理を追求し道理を探究することは、自ら思索して得たもの、特に新しいものは、すすんでそれらを自ら試み、実践することによってこそ実りあるものになる。

本学は、多くの大学にみられるような、基礎理論の探究のみに偏したり、反対に、技能や資格にのみこだわるような教育を排除する。

進展してやまぬ産業技術社会の要請に応え得る、高度な科学的理論と、応用的な技術能力を具備した、好ましい社会人の養成を主眼として、理論と実践、知と行の合一を強い意志と実行力、特に新しいものをつくりだす能力をもった、人間形成の教育を行う。